

生徒自ら行う学習環境整備事業報告

この事業は「県立高等学校の生徒が校舎等を大切に、学習環境の整備に対する関心を高めるため、生徒が主体となって自ら行う」ことを目的としています。

今年度も野球部が中心となって、須商キャンパスのグラウンドの学習環境の整備を行いました。

<生徒自ら行う防風ネット拡張作業の様子> 8月8日(火)

野球部の生徒により、グラウンドの砂がグラウンド周辺に飛ばないように防風ネットの拡張整備を行いました。これにより、周辺の住宅地に砂が舞うことを防ぐとともに、グラウンドの砂の保持にも役立ちます。

また、併せて生徒自らの手でグラウンド用の砂を入れて、凸凹の修復を行いました。グラウンド整備不良による怪我等の心配がなくなり、安全で安心して活動できるようになりました。



作業前



作業後



作業の様子

